燃 料 費 等 調 整 単 価 の お 知 ら せ

［高圧・特別高圧：標準供給条件、選択供給条件］

2026　年　12　月　分

燃 料 費 等 調 整 単 価

区　　分			燃料費調整単価	離島 ユニバーサル サービス 調整単価	市場価格 調整単価	燃料費等 調整単価 （合計）
高圧	業務用電力Ａ、 産業用電力Ａなど	１kWh につき	0.13円	0.08円	0.99円	1.20円
特　別　高　圧	業務用電力Ａ、 産業用電力Ａなど	１kWh につき	0.12円	0.08円	0.97円	1.17円

- 2026年12月分の燃料費調整単価は、2026年９月の平均燃料価格により算出されます。
- 2026年12月分の離島ユニバーサルサービス調整単価は、2026年７月～2026年９月の離島平均燃料価格により算出されます。
- 2026年12月分の市場価格調整単価は、 2026年９月21日～ 2026年10月20日の平均市場価格により算出されます。
- 燃料費等調整単価の推移については、当社ホームページ（https://www.kyuden.co.jp/business/menu/adjustment-past.html）をご覧ください。

平 均 燃 料 価 格

区　　分	2026年９月	平均燃料価格 （原油換算）	料金設定の基準となる 平均燃料価格 （原油換算）
平　均　原　油　価　格	99,432円/kL	47,400円/kL	46,100円/kL
平均液化天然ガス価格	123,579円/ｔ		
平　均　石　炭　価　格	22,704円/ｔ		

- 平均燃料価格は１か月間の貿易統計実績によるものです。

離 島 平 均 燃 料 価 格

区　　分	2026年７月 ～ 2026年９月	離島平均燃料価格 （原油換算）	料金設定の基準となる 離島平均燃料価格 （原油換算）
平　均　原　油　価　格	106,431円/kL	106,400円/kL	79,300円/kL
平均液化天然ガス価格	116,778円/ｔ		
平　均　石　炭　価　格	23,590円/ｔ		

- 離島平均燃料価格は３か月間の貿易統計実績によるものです。

平　均　市　場　価　格

区　　分	単　　位		2026年９月21日 ～ 2026年10月20日	平均市場価格
市　　場　　価　　格	１kWhあたり	全日	13.20円	11.72円
		昼間	10.45円	

- 平均市場価格は１か月間のスポット市場価格（九州エリア）の全日（24時間）・昼間（6～18時）の単純平均値を合成係数（全日：0.4627、昼間：0.5373）で加重平均したものです。

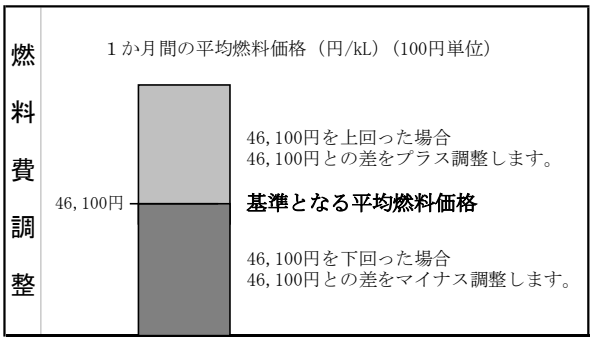
調整実施の基準となる 平均市場価格	１kWhあたり	8.22円

- 平均市場価格が8.22円を上回った場合はプラス調整、8.22円を下回った場合はマイナス調整を行います。

九州電力株式会社

燃料費調整制度の概要

火力燃料費（原油・液化天然ガス・石炭）の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、１か月間の平均燃料価格が46,100円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●燃料費調整単価（2026年12月分）

$$= \left\{ \begin{array}{l} \text{平均燃料価格} \\ (\ 47,400\text{円}\ ) \end{array} - \begin{array}{l} \text{基準値} \\ (\ 46,100\text{円}\ ) \end{array} \right\} \times \frac{\text{基準単価}}{1,000}$$

$$= \boxed{1,300\text{円}} \times \frac{0.098\text{円（高圧の場合）}}{1,000} = \boxed{0.13\text{円}^{*}}\ (\text{税込})$$

＊小数点第３位四捨五入

※基準単価

平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高　圧	0.098円/kWh
特別高圧	0.096円/kWh

●平均燃料価格＝Ａ×α＋Ｂ×β＋Ｃ×γ（100円未満四捨五入）

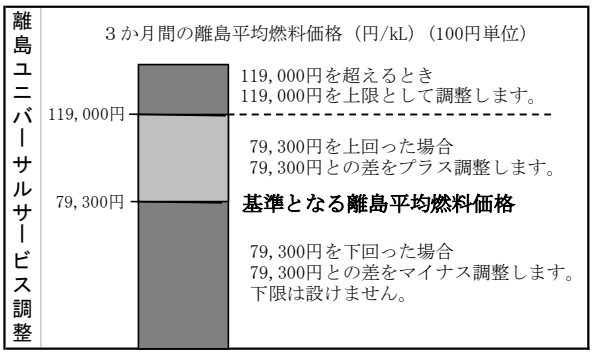
Ａ：平均燃料価格算定期間における１kLあたりの平均原油価格
Ｂ：平均燃料価格算定期間における１ｔあたりの平均液化天然ガス価格
Ｃ：平均燃料価格算定期間における１ｔあたりの平均石炭価格

α：0.0028
β：0.1819
γ：1.0863

α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）

離島ユニバーサルサービス調整制度の概要

離島供給に係る火力燃料費の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、３か月間の離島平均燃料価格が79,300円／kL（料金設定の基準となっている原油換算燃料価格です。）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●離島ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｻｰﾋﾞｽ調整単価（2026年12月分）

$$= \left\{ \begin{array}{l} \text{離島平均燃料価格} \\ (\ 106,400\text{円}\ ) \end{array} - \begin{array}{l} \text{基準値} \\ (\ 79,300\text{円}\ ) \end{array} \right\} \times \frac{\text{離島基準単価}}{1,000}$$

$$= \boxed{27,100\text{円}} \times \frac{0.003\text{円}}{1,000} = \boxed{0.08\text{円}^{*}}\ (\text{税込})$$

＊小数点第３位四捨五入

※離島基準単価

離島平均燃料価格が1,000円/kL変動した場合の電気料金単価への影響額

高　圧 特別高圧	0.003円/kWh

●離島平均燃料価格＝Ａ×α＋Ｂ×β＋Ｃ×γ（100円未満四捨五入）

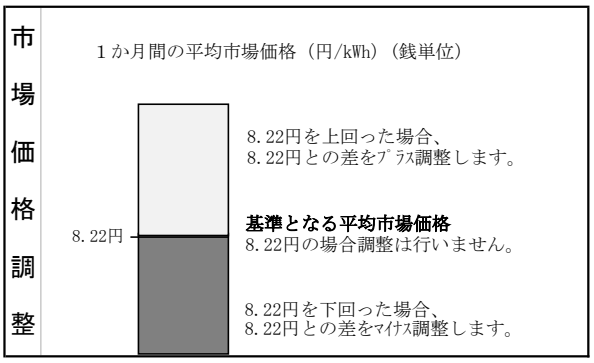
Ａ：離島平均燃料価格算定期間における１kLあたりの平均原油価格
Ｂ：離島平均燃料価格算定期間における１ｔあたりの平均液化天然ガス価格
Ｃ：離島平均燃料価格算定期間における１ｔあたりの平均石炭価格

α：1.0000
β：0.0000
γ：0.0000

α、β、γは原油換算平均価格を算定するための換算係数（原油換算係数と熱量構成比によって算定される一定の値）

市場価格調整制度の概要

卸電力取引市場における市場価格の変動分を、お客さまの電気料金に反映させる仕組みで、１か月間の平均市場価格が8.22円/kWh（基準となる平均市場価格）から変動した場合に、その変動分に応じて電気料金を調整する制度です。



●市場価格調整単価（2026年12月分）

平均市場価格

$$= \begin{array}{l} \text{全日平均値} \\ (13.20\ \text{円}) \end{array} \times \begin{array}{l} \text{合成係数} \\ 0.4627\ ) \end{array} + \left(\begin{array}{l} \text{昼間平均値} \\ 10.45\ \text{円}) \end{array} \times \begin{array}{l} \text{合成係数} \\ 0.5373\ ) \end{array} \right) = \boxed{11.72\text{円}^{*}}$$

＊小数点第３位四捨五入

⇒平均市場価格が8.22円を上回ったため、プラス調整

$$= \left(\boxed{11.72\ \text{円}} - \begin{array}{l} \text{基準値} \\ 8.22\text{円}\ \ ) \end{array} \right) \times 0.284\text{円(高圧の場合)} = \boxed{0.99\ \text{円}^{*}}\ (\text{税込})$$

＊小数点第３位四捨五入

※調整係数

平均市場価格が1.00円/kWh変動した場合の電気料金単価への影響額

高　圧	0.284円/kWh
特別高圧	0.278円/kWh

電気料金の計算方法

電気料金 ＝ 基本料金（税込） ＋ 電力量料金（税込） ± 燃料費調整額（税込）＊1 ± 離島ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｻｰﾋﾞｽ調整額（税込）＊2 ± 市場価格調整額（税込）＊3 ＋ 再エネ賦課金（税込）

燃料費等調整額

＊1 平均燃料価格が基準値から上昇したときは＋、下落したときはーになります。
＊2 離島平均燃料価格が基準値から上昇したときは＋、下落したときはーになります。
＊3 平均市場価格が基準値から上昇したときは＋、下落したときはーになります。